

4章 勤務先における非正社員の人事管理の現状と課題

1. 仕事内容の類似性—あなた（非正社員）が現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係

あなた（非正社員）が現在している仕事内容と職場の正社員の仕事内容との関係（職場の正社員の仕事内容の類似性）についてみると、「正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいる」が27.8%、「正社員でもほぼ同じ内容の仕事をしている人がいる」が42.8%、「正社員には同じ内容の仕事をしている人はいない」が29.4%である（図表29を参照）。

こうした仕事内容の類似性について、第1に、従事している仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者で「正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいる」、販売の仕事に従事している者で「正社員でもほぼ同じ内容の仕事をしている人がいる」、運搬・清掃・包装等の仕事に従事している者で「正社員には同じ内容の仕事をしている人はいない」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、現在の勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数の長さに関わらず、仕事内容の類似性は変わらない。これに対して、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間が長い者ほど、「正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいる」、これに対して、短い者ほど、「正社員には同じ内容の仕事をしている人はいない」、が多くなっている。

図表29 仕事内容の類似性

		(左段：件数、右段：行%)			
	調査数	正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいる	正社員でも、ほぼ同じ内容の仕事をしている人がいる	正社員には、同じ内容の仕事をしていない人はいない	
全体	4113	27.8	42.8	29.4	
従事している仕事	管理的な仕事	42	54.8	31.0	14.3
	専門的・技術的な仕事	254	36.2	39.8	24.0
	事務的な仕事	1101	29.1	37.3	33.6
	販売の仕事	815	22.9	54.6	22.5
	サービスの仕事	613	25.6	48.1	26.3
	保安の仕事	57	40.4	29.8	29.8
	生産工程の仕事	476	32.1	38.9	29.0
	輸送・機械運転の仕事	79	39.2	32.9	27.8
	建設・採掘の仕事	20	40.0	35.0	25.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	17.9	39.1	43.1
	その他の仕事	382	25.9	40.6	33.5
現在の勤務先での勤務年数	5年以上10年未満	1890	26.9	41.6	31.5
	10年以上	2223	28.5	43.9	27.6
平均的な週の労働時間	20時間以上40時間未満	2325	22.5	44.0	33.5
	40時間以上	1788	34.6	41.3	24.1

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

2. 現在している仕事内容のレベル

同じ職場で働いている正社員と比べて、現在、従事している仕事内容のレベルはどのくらいのレベルなのだろうか。現在している仕事内容は大卒正社員の何年目ぐらいの人がしている仕事なのだろうか。「入社1年目」

が9.1%、「入社2・3年目」が11.6%、「入社4・5年目」が8.6%、「入社6・7年目」が5.4%、「それ以上」は17.3%、「わからない」は47.9%である（図表30を参照）。

こうした現在している仕事内容のレベルについて、第1に、従事している仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者で「それ以上」、販売の仕事に従事している者で「入社2・3年目」、事務的な仕事に従事している者で「入社4・5年目」、輸送・機械運転の仕事に従事している者で「入社1年目」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、現在の勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数が長い者ほど、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、週の労働時間が長い者ほど、「それ以上」、を指摘する者が多くなっている。

第4に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいると考えている者ほど、「わからない」を指摘する者が少なくなっている反面、「それ以上」を指摘する者が多くなっている。

図表30 現在している仕事内容のレベル

		（左段：件数、右段：行%）						
		調査数	入社1年目	入社2・3年目	入社4・5年目	入社6・7年目	それ以上	わからない
全 体		4113	9.1	11.6	8.6	5.4	17.3	47.9
従事している仕事	管理的な仕事	42	-	4.8	9.5	9.5	40.5	35.7
	専門的・技術的な仕事	254	3.5	11.8	8.3	9.8	34.3	32.3
	事務的な仕事	1101	9.5	12.4	11.9	5.8	17.9	42.4
	販売の仕事	815	8.0	16.6	9.3	5.3	16.0	44.9
	サービスの仕事	613	8.3	10.4	9.1	6.2	15.7	50.2
	保安の仕事	57	8.8	7.0	7.0	-	14.0	63.2
	生産工程の仕事	476	12.0	11.3	6.1	4.2	13.7	52.7
	輸送・機械運転の仕事	79	22.8	3.8	6.3	1.3	21.5	44.3
	建設・採掘の仕事	20	5.0	10.0	5.0	5.0	35.0	40.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	15.0	9.1	2.9	2.9	9.5	60.6
	その他の仕事	382	6.3	6.0	5.0	5.0	16.0	61.8
現在の勤務先での勤務年数	5年以上10年未満	1890	10.5	13.3	9.2	5.8	12.9	48.4
	10年以上	2223	8.0	10.3	8.1	5.1	21.1	47.5
平均的な週の労働時間	20時間以上40時間未満	2325	9.7	12.9	8.9	5.2	14.1	49.2
	40時間以上	1788	8.4	10.0	8.2	5.8	21.5	46.2
現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係	正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいる	1142	7.9	9.4	10.0	7.4	29.1	36.3
	正社員でも、ほぼ同じ内容の仕事をしている人がいる	1762	8.2	14.0	10.0	5.7	15.0	47.2
	正社員には、同じ内容の仕事をしている人はいない	1209	11.7	10.4	5.3	3.2	9.4	59.9

（注）従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

3. 保有している能力・スキルのレベル

現在、保有している能力・スキルは、大卒正社員の何年目ぐらいのレベルなのであろうか。「入社1年目」が4.0%、「入社2・3年目」が8.4%、「入社4・5年目」が10.3%、「入社6・7年目」が7.0%、「それ以上」は21.4%、「わからない」は48.8%である（図表31を参照）。

こうした保有している能力・スキルのレベルについて、第1に、就いている仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者及び専門的・技術的な仕事に従事している者で「それ以上」、販売の仕事に従事している者及び輸送・機械運転の仕事に従事している者で「入社2・3年目」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、現在の勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数が長い者ほど、第3に、平均的な週の労働時間（残業

時間含む) 別にみると、平均的な週の労働時間が長い者ほど、「それ以上」を指摘する者が多くなっている。

第4に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいると考えている者ほど、「わからない」を指摘する者が少なくなっている反面、「それ以上」を指摘する者が多くなっている。

図表 31 保有している能力・スキルのレベル

(左段：件数、右段：行%)

		調査数	入社1年目	入社2・3年目	入社4・5年目	入社6・7年目	それ以上	わからない
全体		4113	4.0	8.4	10.3	7.0	21.4	48.8
従事している仕事	管理的な仕事	42	-	-	7.1	7.1	47.6	38.1
	専門的・技術的な仕事	254	1.2	5.5	9.4	9.4	45.7	28.7
	事務的な仕事	1101	4.2	8.8	13.6	7.7	22.5	43.1
	販売の仕事	815	3.7	10.9	11.4	7.4	20.0	46.6
	サービスの仕事	613	3.8	9.0	9.6	9.3	19.9	48.5
	保安の仕事	57	1.8	7.0	8.8	1.8	22.8	57.9
	生産工程の仕事	476	6.1	7.4	9.5	5.9	17.6	53.6
	輸送・機械運転の仕事	79	3.8	10.1	8.9	3.8	19.0	54.4
	建設・採掘の仕事	20	5.0	5.0	10.0	10.0	25.0	45.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	7.3	8.0	6.2	3.6	9.9	65.0
その他の仕事	382	2.1	5.5	5.2	3.9	17.8	65.4	
現在の勤務先での勤務年数	5年以上 10年未満	1890	5.1	10.1	10.8	7.4	16.6	50.0
	10年以上	2223	3.1	7.0	9.9	6.7	25.5	47.9
平均的な週の労働時間	20時間以上 40時間未満	2325	4.6	8.8	10.8	7.1	17.4	51.3
	40時間以上	1788	3.1	7.9	9.7	6.9	26.7	45.6
現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係	正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいる	1142	2.5	6.1	9.5	9.7	33.2	38.9
	正社員でも、ほぼ同じ内容の仕事をしている人がいる	1762	3.6	10.2	12.2	7.5	19.6	46.9
	正社員には、同じ内容の仕事をしている人はいない	1209	5.9	8.0	8.4	3.7	13.0	61.0

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

4. 非正社員から正社員に登用される制度・非正社員から正社員に登用された者の有無

(1) 非正社員から正社員に登用される制度

勤務先に、非正社員から正社員に登用される制度が「ある」が65.5%、「ない」が34.5%である(図表32を参照)。

こうした非正社員から正社員に登用される制度について、第1に、従事している仕事別にみると、従事しているすべての仕事で非正社員から正社員に登用される制度が「ある」を指摘する者が多くなっているが、その傾向はサービスの仕事に従事している者及び保安の仕事に従事している者で顕著に見られる。

第2に、現在の勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、非正社員から正社員に登用される制度の導入率はほぼ同じである。これに対して、第3に、平均的な週の労働時間(残業時間含む)別にみると、週の労働時間が長い者ほど、勤務先に非正社員から正社員に登用される制度が「ある」と指摘した者が多くなっている。

第4に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいると考えている者ほど、第5に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、勤務先に非正社員から正社員に登用される制度が「ある」と指摘した者が多くなっている。

図表 32 非正社員から正社員に登用される制度・非正社員から正社員に登用された者の有無

		調査数	(左段：件数、右段：行%)				
			非正社員から正社員 に登用される制度		制度に関係なく、これまで、正 社員に登用された者		
			ある	ない	いる	いない	わから ない
全 体		4113	65.5	34.5	58.5	15.8	25.7
従事している仕事	管理的な仕事	42	66.7	33.3	61.9	16.7	21.4
	専門的・技術的な仕事	254	66.9	33.1	58.3	17.7	24.0
	事務的な仕事	1101	64.0	36.0	59.4	18.8	21.8
	販売の仕事	815	68.7	31.3	57.3	15.6	27.1
	サービスの仕事	613	72.4	27.6	61.8	13.4	24.8
	保安の仕事	57	75.4	24.6	59.6	8.8	31.6
	生産工程の仕事	476	59.2	40.8	60.3	14.3	25.4
	輸送・機械運転の仕事	79	65.8	34.2	73.4	6.3	20.3
	建設・採掘の仕事	20	60.0	40.0	55.0	20.0	25.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	63.1	36.9	56.9	14.2	28.8
	その他の仕事	382	59.4	40.6	48.4	16.2	35.3
	現在の勤務先での 勤務年数	5年以上 10年未満	1890	64.0	36.0	53.8	16.6
10年以上		2223	66.9	33.1	62.5	15.2	22.3
平均的な週の労働 時間	20時間以上 40時間未満	2325	63.7	36.3	55.0	17.6	27.4
	40時間以上	1788	68.0	32.0	63.0	13.5	23.5
現在している仕事 内容と正社員の仕 事内容との関係	正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいる	1142	69.7	30.3	64.7	15.5	19.8
	正社員でも、ほぼ同じ内容の仕事をしている人がいる	1762	70.7	29.3	60.7	13.1	26.2
	正社員には、同じ内容の仕事をしている人はいない	1209	54.1	45.9	49.3	20.1	30.6
会社にとって、非 正社員は戦力であ るという方針を 持っている	当てはまる	866	75.1	24.9	69.7	13.0	17.2
	やや当てはまる	1595	69.7	30.3	61.9	14.0	24.0
	あまり当てはまらない	882	61.5	38.5	50.8	17.3	31.9
	当てはまらない	770	51.0	49.0	47.4	20.9	31.7

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

(2) 非正社員から正社員に登用された者の有無

非正社員から正社員に登用される制度の有無に関係なく、これまで、正社員に登用された者が「いる」が58.5%、「いない」が15.8%、「わからない」が25.7%である（前掲図表32を参照）。

こうした非正社員から正社員に登用された者の有無について、第1に、従事している仕事別にみると、従事しているすべての仕事で正社員に登用された者が「いる」を指摘する者が多くなっているが、その傾向は輸送・機械運転の仕事に従事している者で顕著に見られる。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数が長い者ほど、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間が長い者ほど、正社員に登用された者が「いる」を指摘する者が多くなっている。

第4に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいると考えている者ほど、第5に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、正社員に登用された者が「いる」を指摘する者が多くなっている。

5. 非正社員のまま「係長・主任・現場監督者クラス以上」に昇進することができる仕組み・非正社員のまま昇進した者の有無

(1) 非正社員のまま「係長・主任・現場監督者クラス以上」に昇進することができる仕組み

非正社員のまま「係長・主任・現場監督者クラス以上」に昇進することができる仕組みが「ある」が15.0%、「ない」が85.0%である（図表33を参照）。

こうした非正社員のまま「係長・主任・現場監督者クラス以上」に昇進することができる仕組みについては、第1に、従事している仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者で昇進することができる仕組みが「ある」、これに対して、生産工程の仕事に従事している者、輸送・機械運転の仕事に従事している者及び運搬・清掃・包装等の仕事に従事している者で、仕組みが「ない」、を指摘する者が多くなっている。

図表33 非正社員のまま「係長・主任・現場監督者クラス以上」に昇進することができる仕組み・「非正社員のまま昇進した者」の有無

		調査数	非正社員のまま係長・主任・現場監督者クラス以上に昇進することができる仕組み		（左段：件数、右段：行%） 制度の有無に関係なく、非正社員のまま係長・主任・現場監督者クラス以上に昇進した者		
			ある	ない	いる	いない	わからない
全体		4113	15.0	85.0	12.7	50.7	36.6
従事している仕事	管理的な仕事	42	45.2	54.8	50.0	35.7	14.3
	専門的・技術的な仕事	254	18.5	81.5	18.1	50.4	31.5
	事務的な仕事	1101	10.5	89.5	9.0	58.8	32.2
	販売の仕事	815	20.9	79.1	17.5	44.8	37.7
	サービスの仕事	613	22.8	77.2	18.1	43.7	38.2
	保安の仕事	57	22.8	77.2	21.1	40.4	38.6
	生産工程の仕事	476	7.6	92.4	5.5	59.5	35.1
	輸送・機械運転の仕事	79	6.3	93.7	5.1	58.2	36.7
	建設・採掘の仕事	20	15.0	85.0	20.0	40.0	40.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	7.7	92.3	8.8	50.4	40.9
	その他の仕事	382	11.8	88.2	8.4	42.7	49.0
現在の勤務先での勤務年数	5年以上 10年未満	1890	13.4	86.6	11.6	48.0	40.4
	10年以上	2223	16.3	83.7	13.6	52.9	33.5
平均的な週の労働時間	20時間以上 40時間未満	2325	14.2	85.8	12.0	49.1	38.9
	40時間以上	1788	15.9	84.1	13.5	52.7	33.7
現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係	正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいる	1142	19.6	80.4	17.1	49.3	33.6
	正社員でも、ほぼ同じ内容の仕事をしている人がいる	1762	15.3	84.7	12.3	49.8	37.9
	正社員には、同じ内容の仕事をしている人はいない	1209	10.0	90.0	9.2	53.2	37.6
会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている	当てはまる	866	21.7	78.3	18.5	54.2	27.4
	やや当てはまる	1595	15.2	84.8	12.9	50.6	36.5
	あまり当てはまらない	882	12.4	87.6	9.6	48.2	42.2
	当てはまらない	770	9.7	90.3	9.2	49.7	41.0

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間に関わらず、昇進することができる仕組みの導入率はほぼ同じである。

第4に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいると考えている者ほど、第5に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、昇進することができる仕組みが「ある」、を指摘する者が多くなっている。

(2) 非正社員のまま「係長・主任・現場監督者クラス以上」に昇進した者の有無

制度の有無に関係なく、非正社員のまま「係長・主任・現場監督者クラス以上」に昇進した者が「いる」が 12.7%、「いない」が 50.7%、「わからない」が 36.6%である（前掲図表 33 を参照）。

こうした非正社員のまま「係長・主任・現場監督者クラス以上」に昇進した者の有無について、第 1 に、従事している仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者で、昇進した者が「いる」、これに対して、事務的な仕事に従事している者、生産工程の仕事に従事している者及び輸送・機械運転の仕事に従事している者で、昇進した者が「いない」、を指摘する者が多くなっている。

第 2 に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、第 3 に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間に関わらず、昇進した者の比率はほぼ同じである。

第 4 に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいると考えている者ほど、第 5 に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、昇進した者が「いる」を指摘する者が多くなっている。

6. 勤務先で「部署」・「勤務地」・「仕事内容」が変わった経験

(1) 「部署」が変わった経験の有無

現在の勤務先で、部署が「変わった（経験した）ことがある」が 18.7%、「経験したことがない」が 81.3%である（図表 34 を参照）。

こうした部署が変わった経験の有無について、第 1 に、従事している仕事別にみると、従事しているすべての仕事で、「経験したことがない」を指摘する者が多くなっているが、その傾向は輸送・機械運転の仕事に従事している者で顕著に見られる。また、管理的な仕事に従事している者の 28.6%が部署を「変わった（経験した）ことがある」と指摘している。

第 2 に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数が長い者ほど、第 3 に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間が長い者ほど、部署が「変わった（経験した）ことがある」と指摘する者が多くなっている。

第 4 に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいると考えている者ほど、第 5 に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、部署が「変わった（経験した）ことがある」と指摘する者が多くなっている。

図表 34 「部署」・「勤務地」・「仕事内容」が変わった経験

(左段：件数、右段：行%)

	調査数	部署		勤務地		仕事内容		
		経験したことがある	経験したことがない	経験したことがある	経験したことがない	経験したことがある	経験したことがない	
全体	4113	18.7	81.3	17.5	82.5	29.8	70.2	
従事している仕事	管理的な仕事	42	28.6	71.4	40.5	59.5	42.9	57.1
	専門的・技術的な仕事	254	21.3	78.7	24.8	75.2	28.0	72.0
	事務的な仕事	1101	26.9	73.1	19.0	81.0	39.2	60.8
	販売の仕事	815	14.8	85.2	17.4	82.6	25.5	74.5
	サービスの仕事	613	10.0	90.0	18.6	81.4	19.1	80.9
	保安の仕事	57	12.3	87.7	42.1	57.9	22.8	77.2
	生産工程の仕事	476	26.3	73.7	9.9	90.1	41.4	58.6
	輸送・機械運転の仕事	79	3.8	96.2	10.1	89.9	11.4	88.6
	建設・採掘の仕事	20	10.0	90.0	35.0	65.0	20.0	80.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	12.8	87.2	13.5	86.5	24.5	75.5
その他の仕事	382	14.1	85.9	13.6	86.4	23.6	76.4	
現在の勤務先での勤務年数	5年以上 10年未満	1890	14.9	85.1	13.6	86.4	26.0	74.0
	10年以上	2223	22.0	78.0	20.8	79.2	33.0	67.0
平均的な週の労働時間	20時間以上 40時間未満	2325	15.4	84.6	14.9	85.1	26.3	73.7
	40時間以上	1788	23.1	76.9	20.9	79.1	34.3	65.7
現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係	正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいる	1142	22.9	77.1	21.0	79.0	33.9	66.1
	正社員でも、ほぼ同じ内容の仕事をしている人がいる	1762	18.3	81.7	17.5	82.5	30.6	69.4
	正社員には、同じ内容の仕事をしている人はいない	1209	15.4	84.6	14.1	85.9	24.7	75.3
会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている	当てはまる	866	22.3	77.7	18.6	81.4	36.8	63.2
	やや当てはまる	1595	19.9	80.1	18.8	81.2	31.3	68.7
	あまり当てはまらない	882	16.9	83.1	17.0	83.0	25.6	74.4
	当てはまらない	770	14.4	85.6	14.2	85.8	23.6	76.4

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

(2) 「勤務地」が変わった経験の有無

現在の勤務先で、勤務地が「変わった(経験した)ことがある」が17.5%、「経験したことがない」が82.5%である(前掲図表34を参照)。

こうした勤務地が変わった経験の有無について、第1に、従事している仕事別にみると、保安の仕事に従事している者及び管理的な仕事に従事している者で、勤務地が「変わった(経験した)ことがある」、これに対して、生産工程の仕事に従事している者、輸送・機械運転の仕事に従事している者及び運搬・清掃・包装等の仕事に従事している者で「経験したことがない」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数が長い者ほど、第3に、平均的な週の労働時間(残業時間含む)別にみると、平均的な週の労働時間が長い者ほど、現在の勤務先で、勤務地が「変わった(経験した)ことがある」を指摘する者が多くなっている。

第4に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいると考えている者ほど、第5に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、現在の勤務先で、勤務地が「変わった(経験した)ことがある」を指摘する者が多くなっている。

(3) 「仕事内容」が変わった経験の有無

現在の勤務先で、仕事内容が「変わった(経験した)ことがある」が29.8%、「経験したことがない」が70.2%である(前掲図表34を参照)。

こうした仕事内容が変わった経験の有無について、第1に、従事している仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者及び生産工程の仕事に従事している者で、現在の勤務先で、仕事内容が「変わった（経験した）ことがある」、これに対して、輸送・機械運転の仕事に従事している者で「経験したことがない」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数が長い者ほど、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間が長い者ほど、現在の勤務先で、仕事内容が「変わった（経験した）ことがある」を指摘する者が多くなっている。

第4に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいると考えている者ほど、第5に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、現在の勤務先で、仕事内容が「変わった（経験した）ことがある」を指摘する者が多くなっている。

7. 目標管理（「業務目標を立てること」）の対象の有無

目標管理（業務目標を立てること）の「対象になっている」が24.0%、「対象となっていないが、正社員には仕組みがある」が41.9%、「対象となっていないし、正社員にも仕組みがない」が34.1%である（図表35を参照）。

こうした「業務目標を立てること」の対象の有無について、第1に、従事している仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者で、「目標管理（業務目標を立てること）の対象になっている」、保守の仕事に従事している者、輸送・機械運転の仕事に従事している者及び運搬・清掃・包装等の仕事で「対象となっていないし、正社員にも仕組みがない」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数が長い者ほど、「対象になっている」が多くなっている。これに対して、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、週の労働時間の長さに関わらず、「業務目標を立てること」の対象の有無は変わらない。

第4に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいると考えている者ほど、第5に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、「目標管理（業務目標を立てること）の対象になっている」を指摘する者が多くなっている。

図表 35 「業務目標を立てること」の対象の有無・「自己申告（希望する仕事を申告する仕組）」の対象の有無

(左段：件数、右段：件%)

	調査数	業務目標を立てること			希望する仕事を申告する仕組			
		対象になっている	対象となっていないが、社員には仕組みがある	対象となっていないし、社員にも仕組みがない	対象になっている	対象となっていないが、社員には仕組みがある	対象となっていないし、社員にも仕組みがない	
		正	正	正	正	正	正	
全体	4113	24.0	41.9	34.1	16.8	34.6	48.6	
従事している仕事	管理的な仕事	42	54.8	28.6	16.7	38.1	35.7	26.2
	専門的・技術的な仕事	254	33.1	35.0	31.9	25.6	30.7	43.7
	事務的な仕事	1101	25.6	42.1	32.2	17.7	36.5	45.8
	販売の仕事	815	31.5	44.3	24.2	19.4	39.1	41.5
	サービスの仕事	613	24.1	40.9	34.9	18.8	31.6	49.6
	保安の仕事	57	17.5	31.6	50.9	22.8	19.3	57.9
	生産工程の仕事	476	13.9	45.4	40.8	9.0	31.1	59.9
	輸送・機械運転の仕事	79	11.4	31.6	57.0	10.1	26.6	63.3
	建設・採掘の仕事	20	25.0	30.0	45.0	15.0	15.0	70.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	12.0	43.8	44.2	12.4	33.6	54.0
	その他の仕事	382	18.3	41.9	39.8	10.7	37.2	52.1
現在の勤務先での勤務年数	5年以上 10年未満	1890	20.7	42.6	36.7	15.9	33.4	50.6
	10年以上	2223	26.8	41.3	31.9	17.5	35.7	46.8
平均的な週の労働時間	20時間以上 40時間未満	2325	22.6	42.9	34.5	16.6	34.0	49.4
	40時間以上	1788	25.8	40.5	33.6	17.1	35.5	47.5
現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係	正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいる	1142	30.7	33.6	35.6	19.7	31.7	48.6
	正社員でも、ほぼ同じ内容の仕事をしている人がいる	1762	24.2	46.9	28.9	18.1	37.9	44.0
	正社員には、同じ内容の仕事をしている人はいない	1209	17.4	42.3	40.4	12.2	32.7	55.2
会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている	当てはまる	866	33.4	43.5	23.1	27.1	33.8	39.0
	やや当てはまる	1595	25.3	48.2	26.5	17.6	39.1	43.4
	あまり当てはまらない	882	21.0	41.3	37.8	12.4	36.7	50.9
	当てはまらない	770	14.2	27.7	58.2	8.7	24.0	67.3

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

8. 自己申告（「希望する仕事を申告する仕組」）の対象の有無

自己申告（希望する仕事を申告する仕組）の「対象になっている」が16.8%、「対象となっていないが、正社員には仕組みがある」が34.6%、「対象となっていないし、正社員にも仕組みがない」が48.6%である（前掲図表35を参照）。

こうした自己申告（希望する仕事を申告する仕組）の対象の有無について、第1に、従事している仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者で、自己申告（希望する仕事を申告する仕組）の「対象になっている」、販売の仕事に従事している者で「対象となっていないが、正社員には仕組みがある」、輸送・機械運転の仕事に従事している者で「対象となっていないし、正社員にも仕組みがない」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、自己申告（希望する仕事を申告する仕組）の対象の有無はほぼ変わらない。同様に、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみても、週の労働時間の長さに関わらず、自己申告の対象の有無はほぼ変わらない。

第4に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいると考えている者ほど、第5に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとつ

て、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、「自己申告（希望する仕事を申告する仕組）の対象になっている」を指摘する者が多くなっている。

9. 自己申告（「勤務時間や勤務場所などの働き方に関する希望を申告する仕組」）の対象の有無

自己申告（勤務時間や勤務場所などの働き方に関する希望を申告する仕組）の「対象になっている」が29.3%、「対象となっていないが、正社員には仕組みがある」が28.8%、「対象となっていないし、正社員にも仕組みがない」が41.9%である（図表36を参照）。

こうした自己申告（勤務時間や勤務場所などの働き方に関する希望を申告する仕組）の有無について、第1に、従事している仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者で、自己申告（勤務時間や勤務場所などの働き方に関する希望を申告する仕組）の「対象になっている」、販売の仕事に従事している者で「対象となっていないが、正社員には仕組みがある」、輸送・機械運転の仕事に従事している者で「対象となっていないし、正社員にも仕組みがない」、を指摘する者が多くなっている。

図表36 自己申告（勤務時間や勤務場所などの働き方に関する希望を申告する仕組）の有無・キャリア相談（人事部門と従業員個人が働き方・キャリアについて個別に面談する機会）の有無

		(左段：件数、右段：行%)						
	調査数	勤務時間や勤務場所などの働き方に関する希望を申告する仕組			人事部門と従業員個人が働き方・キャリアについて個別に面談する機会			
		対象になっている	対象となっていないが社員には仕組みがある	対象となっていないし、社員にも仕組みがない	対象になっている	対象となっていないが社員には仕組みがある	対象となっていないし、社員にも仕組みがない	
		正	正	正	正	正	正	
全体	4113	29.3	28.8	41.9	20.4	35.4	44.2	
従事している仕事	管理的な仕事	42	50.0	31.0	19.0	38.1	35.7	26.2
	専門的・技術的な仕事	254	36.6	24.4	39.0	28.0	30.3	41.7
	事務的な仕事	1101	27.8	31.2	41.0	24.5	33.5	42.0
	販売の仕事	815	37.4	32.0	30.6	22.8	42.2	35.0
	サービスの仕事	613	37.2	22.7	40.1	20.7	35.1	44.2
	保安の仕事	57	36.8	15.8	47.4	17.5	22.8	59.6
	生産工程の仕事	476	17.0	29.4	53.6	12.6	34.9	52.5
	輸送・機械運転の仕事	79	16.5	26.6	57.0	11.4	26.6	62.0
	建設・採掘の仕事	20	15.0	20.0	65.0	10.0	20.0	70.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	21.9	27.4	50.7	12.4	35.0	52.6
その他の仕事	382	19.4	30.1	50.5	14.1	35.6	50.3	
現在の勤務先での勤務年数	5年以上 10年未満	1890	28.3	27.5	44.2	18.0	35.3	46.7
	10年以上	2223	30.2	29.8	40.0	22.4	35.5	42.1
平均的な週の労働時間	20時間以上 40時間未満	2325	32.3	26.8	40.8	20.9	34.8	44.3
	40時間以上	1788	25.3	31.3	43.4	19.7	36.1	44.1
現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係	正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいる	1142	30.5	26.5	43.0	22.5	33.0	44.5
	正社員でも、ほぼ同じ内容の仕事をしている人がいる	1762	32.3	31.0	36.7	21.5	38.8	39.7
	正社員には、同じ内容の仕事をしている人はいない	1209	23.8	27.6	48.6	16.8	32.7	50.5
会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている	当てはまる	866	45.6	25.2	29.2	30.9	36.1	32.9
	やや当てはまる	1595	32.3	32.0	35.7	23.3	39.4	37.4
	あまり当てはまらない	882	21.8	31.9	46.4	14.5	36.8	48.6
	当てはまらない	770	13.4	22.5	64.2	9.4	24.7	66.0

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、自己申告（勤務時間や勤務場所などの働き方に関する希望を申告する仕組）の有無はほぼ変わらない。これに対して、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、週の労働時間が短い者ほど、「対象になっている」者が多くなっている。

第4に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいると考えている者ほど、第5に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、自己申告（勤務時間や勤務場所などの働き方に関する希望を申告する仕組）の「対象になっている」を指摘する者が多くなっている。

10. キャリア相談（人事部門と従業員個人が働き方・キャリアについて個別に面談する機会）の対象の有無

キャリア相談（人事部門と従業員個人が働き方・キャリアについて個別に面談する機会）が「対象になっている」が20.4%、「対象となっていないが、正社員には仕組みがある」が35.4%、「対象となっていないし、正社員にも仕組みがない」が44.2%である（前掲図表36を参照）。

こうしたキャリア相談（人事部門と従業員個人が働き方・キャリアについて個別に面談する機会）の有無について、第1に、従事している仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者で、キャリア相談（人事部門と従業員個人が働き方・キャリアについて個別に面談する機会）の「対象になっている」、販売の仕事に従事している者で「対象となっていないが、正社員には仕組みがある」、輸送・機械運転の仕事に従事している者で「対象となっていないし、正社員にも仕組みがない」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、キャリア相談（人事部門と従業員個人が働き方・キャリアについて個別に面談する機会）の有無はほぼ変わらない。同様に、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみても、週の労働時間の長さに関わらず、キャリア相談の対象の有無はほぼ変わらない。

第4に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいると考えている者ほど、第5に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、キャリア相談（人事部門と従業員個人が働き方・キャリアについて個別に面談する機会）の「対象になっている」を指摘する者が多くなっている。

11. 勤務先の教育訓練の対象の有無

(1) 採用時の導入研修の対象の有無

採用時の導入研修の「対象になっている」が27.4%、「対象となっていないが、正社員には仕組みがある」が38.7%、「対象となっていないし、正社員にも仕組みがない」が34.0%である（図表37を参照）。こうした採用時の導入研修の適用の有無について、第1に、従事している仕事別にみると、保安の仕事に従事している者で、採用時の導入研修の「対象になっている」、専門的・技術的な仕事に従事している者及び事務的な仕事に従事している者で「対象となっていないが、正社員には仕組みがある」、輸送・機械運転の仕事に従事している者及び運搬・清掃・包装等の仕事に従事している者で「対象となっていないし、正社員にも仕組みがない」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、採用時の導入研修の適用の有無はほぼ変わらない。同様に、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみても、週の労働時間の長さに関わらず、採用時の導入研修の適用の有無はほぼ変わらない。

図表37 「採用時の導入研修」の対象の有無・「仕事に直接関連する研修」の対象の有無・「自己啓発（自学自習）への支援」の対象の有無

（左段：件数、右段：行%）

	調査数	採用時の導入研修			仕事に直接関連する研修			自己啓発（自学自習）への支援			
		対象になっている	対象となっていないが、正社員には仕組みがある	対象となっていないし、正社員にも仕組みがない	対象になっている	対象となっていないが、正社員には仕組みがある	対象となっていないし、正社員にも仕組みがない	対象になっている	対象となっていないが、正社員には仕組みがある	対象となっていないし、正社員にも仕組みがない	
全体	4113	27.4	38.7	34.0	31.0	35.9	33.1	20.6	35.7	43.6	
従事している仕事	管理的な仕事	42	52.4	23.8	23.8	54.8	21.4	23.8	40.5	26.2	33.3
	専門的・技術的な仕事	254	28.0	40.6	31.5	34.3	37.8	28.0	29.9	34.6	35.4
	事務的な仕事	1101	25.3	42.0	32.7	30.0	38.0	32.1	22.8	38.1	39.1
	販売の仕事	815	35.8	38.0	26.1	39.4	35.8	24.8	28.6	37.4	34.0
	サービスの仕事	613	28.5	36.9	34.6	34.3	32.1	33.6	16.2	35.9	48.0
	保安の仕事	57	56.1	15.8	28.1	59.6	14.0	26.3	14.0	22.8	63.2
	生産工程の仕事	476	18.9	40.1	41.0	20.2	38.7	41.2	12.0	38.0	50.0
	輸送・機械運転の仕事	79	31.6	22.8	45.6	30.4	27.8	41.8	11.4	24.1	64.6
	建設・採掘の仕事	20	10.0	40.0	50.0	30.0	25.0	45.0	25.0	25.0	50.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	17.9	37.6	44.5	16.8	39.8	43.4	10.2	32.8	56.9
	その他の仕事	382	23.0	39.3	37.7	25.7	36.1	38.2	17.3	30.6	52.1
現在の勤務先での勤務年数	5年以上10年未満	1890	27.5	36.8	35.7	30.2	35.2	34.6	18.7	35.7	45.7
	10年以上	2223	27.2	40.3	32.5	32.0	36.9	31.0	22.3	35.8	41.9
平均的な週の労働時間	20時間以上40時間未満	2325	27.3	37.1	35.6	29.4	35.4	35.2	19.7	34.9	45.3
	40時間以上	1788	27.4	40.7	31.9	32.4	36.3	31.3	21.8	36.7	41.4
現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係	正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいる	1142	29.2	36.3	34.6	33.8	31.6	34.6	24.2	32.7	43.1
	正社員でも、ほぼ同じ内容の仕事をしている人がいる	1762	28.2	42.1	29.7	32.1	39.4	28.5	21.3	38.9	39.8
	正社員には、同じ内容の仕事をしている人はいない	1209	24.4	35.9	39.7	26.8	34.9	38.3	16.4	33.9	49.7
会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている	当てはまる	866	39.1	37.9	23.0	44.8	33.7	21.5	30.0	36.5	33.5
	やや当てはまる	1595	29.2	43.7	27.1	33.9	39.7	26.3	21.6	39.7	38.7
	あまり当てはまらない	882	22.9	39.1	38.0	24.0	39.2	36.7	16.4	37.8	45.8
	当てはまらない	770	15.3	28.6	56.1	17.4	26.8	55.8	12.9	24.3	62.9

（注）従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

(2) 仕事に直接関連する研修の対象の有無

仕事に直接関連する研修の「対象になっている」が31.0%、「対象となっていないが、正社員には仕組みがある」が35.9%、「対象となっていないし、正社員にも仕組みがない」が33.1%である（前掲図表37を参照）。こうした仕事に直接関連する研修の適用の有無について、第1に、従事している仕事別にみると、保安の仕事に従事している者で、仕事に直接関連する研修の「対象になっている」、専門的・技術的な仕事に従事している者、事務的な仕事に従事している者、生産工程の仕事に従事している者及び運搬・清掃・包装等の仕事に従事している者で「対象となっていないが、正社員には仕組みがある」、運搬・清掃・包装等の仕事に従事している者で「対象となっていないし、正社員にも仕組みがない」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、仕事に直接関連する研修の適用の有無はほぼ変わらない。同様に、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみても、週の労働時間の長さに関わらず、仕事に直接関連する研修の適用の有無はほぼ変わらない。

第4に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいると考えている者ほど、第5に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、仕事に直接関連する研修の「対象になっている」を指摘する者が多くなっている。

(3) 自己啓発（自学自習）への支援の対象の有無

自己啓発（自学自習）への支援の「対象になっている」が20.6%、「対象となっていないが、正社員には仕組みがある」が35.7%、「対象となっていないし、正社員にも仕組みがない」が43.6%である（前掲図表37を参照）。

こうした自己啓発（自学自習）への支援の適用の有無について、第1に、従事している仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者で、自己啓発（自学自習）への支援の「対象になっている」、事務的な仕事に従事している者、販売の仕事に従事している者及び生産工程の仕事に従事している者で「対象となっていないが、正社員には仕組みがある」、保安の仕事に従事している者及び輸送・機械運転の仕事に従事している者で「対象となっていないし、正社員にも仕組みがない」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、自己啓発（自学自習）への支援の適用の有無はほぼ変わらない。同様に、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみても、週の労働時間の長さに関わらず、自己啓発（自学自習）への支援の適用の有無はほぼ変わらない。

第4に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいると考えている者ほど、第5に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、自己啓発（自学自習）への支援の「対象になっている」を指摘する者が多くなっている。

12. 勤務先の人事評価の実施状況

勤務先が人事評価を「実施している」が46.4%、「実施していない」が53.6%である（図表38を参照）。

こうした人事評価の適用の有無について、第1に、従事している仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者及び販売の仕事に従事している者で、勤務先が人事評価を「実施している」、これに対して、生産工程の仕事で「実施していない」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数が長い者ほど、「実施している」を指摘する者が多くなっている。

これに対して、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間（残業時間含む）に関わらず、勤務先の人事評価の実施状況は変わらない。

第4に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいると考えている者ほど、第5に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、勤務先が人事評価を「実施している」を指摘する者が多くなっている。

図表 38 人事評価の実施状況・「昇給の仕組み」の有無

(左段：件数、右段：行%)

	調査数	人事評価		昇給の仕組み（または契約更新時などに賃金上がる仕組み）		
		実施している	実施していない	ある	ない	
全体	4113	46.4	53.6	65.8	34.2	
従事している仕事	管理的な仕事	42	69.0	31.0	73.8	26.2
	専門的・技術的な仕事	254	44.9	55.1	61.4	38.6
	事務的な仕事	1101	50.9	49.1	66.4	33.6
	販売の仕事	815	58.2	41.8	76.6	23.4
	サービスの仕事	613	41.8	58.2	67.4	32.6
	保安の仕事	57	38.6	61.4	45.6	54.4
	生産工程の仕事	476	32.8	67.2	63.0	37.0
	輸送・機械運転の仕事	79	39.2	60.8	57.0	43.0
	建設・採掘の仕事	20	25.0	75.0	40.0	60.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	36.1	63.9	57.7	42.3
	その他の仕事	382	42.4	57.6	56.5	43.5
現在の勤務先での勤務年数	5年以上 10年未満	1890	42.2	57.8	64.6	35.4
	10年以上	2223	49.9	50.1	66.9	33.1
平均的な週の労働時間	20時間以上 40時間未満	2325	44.9	55.1	66.6	33.4
	40時間以上	1788	48.3	51.7	64.8	35.2
現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係	正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいる	1142	50.3	49.7	68.0	32.0
	正社員でも、ほぼ同じ内容の仕事をしている人がいる	1762	48.2	51.8	69.4	30.6
	正社員には、同じ内容の仕事をしている人はいない	1209	40.0	60.0	58.6	41.4
会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている	当てはまる	866	58.7	41.3	76.1	23.9
	やや当てはまる	1595	51.9	48.1	70.7	29.3
	あまり当てはまらない	882	37.5	62.5	59.2	40.8
	当てはまらない	770	31.3	68.7	51.8	48.2

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

13. 勤務先における昇給の仕組み（または契約更新時などに賃金が上がる仕組み）の有無

勤務先に昇給の仕組み（または契約更新時などに賃金が上がる仕組み）が「ある」が65.8%、「ない」が34.2%である（前掲図表38を参照）。

こうした昇給の仕組み（または契約更新時などに賃金が上がる仕組み）の有無について、第1に、従事している仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者及び販売の仕事に従事している者で、勤務先に昇給の仕組み（または契約更新時などに賃金が上がる仕組み）が「ある」、これに対して、保安の仕事に従事している者で仕組みが「ない」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、昇給の仕組みの有無はほぼ変わらない。同様に、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみても、週の労働時間の長さに関わらず、昇給の仕組みの有無はほぼ変わらない。

第4に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、昇給の仕組みが「ある」を指摘する者が多くなっている。

14. 現在の勤務先での給与の評価

（1）同じ程度の能力をもつ正社員と比較しての評価

現在の勤務先の給与の評価について、あなたと同じ程度の能力をもつ正社員と比較して、「高いと思う」16.5%（「高いと思う」3.1%+「やや高いと思う」13.4%）、「安いと思う」83.5%（「やや安いと思う」40.4%+「安いと思う」43.1%）であり、「安いと思う」が「高いと思う」を大幅に上回っている（図表39を参照）。

こうした同じ程度の能力をもつ正社員と比較しての評価について、第1に、従事している仕事別にみると、従事しているすべての仕事で、同じ程度の能力をもつ正社員と比較して、「安いと思う」者が多くなっており、とくに、保安の仕事に従事している者及び運搬・清掃・包装の仕事に従事している者で顕著に見られる。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみても、週の労働時間の長さに関わらず、第4に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係に関わらず、同じ程度の能力をもつ正社員と比較しての給与の評価は変わらない。

図表 39 現在の勤務先での給与の評価—あなたと同じ程度の能力をもつ正社員と比較して

(左段：件数、右段：行%)

	調査数	高いと思う	高いと思う				安いと思う	
			高いと思う	やや高いと思う	やや安いと思う	安いと思う		
全体	4113	16.5	3.1	13.4	40.4	43.1	83.5	
従事している仕事	管理的な仕事	42	28.5	9.5	19.0	26.2	45.2	71.4
	専門的・技術的な仕事	254	28.8	7.5	21.3	37.8	33.5	71.3
	事務的な仕事	1101	17.2	3.3	13.9	37.5	45.3	82.8
	販売の仕事	815	15.1	2.6	12.5	43.1	41.8	84.9
	サービスの仕事	613	19.4	3.9	15.5	44.2	36.4	80.6
	保安の仕事	57	7.0	0.0	7.0	43.9	49.1	93.0
	生産工程の仕事	476	12.2	2.5	9.7	38.0	49.8	87.8
	輸送・機械運転の仕事	79	14.0	5.1	8.9	34.2	51.9	86.1
	建設・採掘の仕事	20	25.0	5.0	20.0	40.0	35.0	75.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	10.9	0.7	10.2	42.0	47.1	89.1
その他の仕事	382	14.1	1.3	12.8	43.2	42.7	85.9	
現在の勤務先での勤務年数	5年以上 10年未満	1890	15.4	2.8	12.6	41.5	43.0	84.6
	10年以上	2223	17.4	3.4	14.0	39.5	43.1	82.6
平均的な週の労働時間	20時間以上 40時間未満	2325	17.5	2.8	14.7	42.5	40.0	82.5
	40時間以上	1788	15.2	3.5	11.7	37.7	47.1	84.8
現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係	正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいる	1142	17.2	4.6	12.5	31.9	51.0	82.8
	正社員でも、ほぼ同じ内容の仕事をしている人がいる	1762	17.1	2.9	14.2	43.9	38.9	82.9
	正社員には、同じ内容の仕事をしている人はいない	1209	14.9	2.0	12.9	43.4	41.7	85.1

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

(2) 実際にしている仕事の内容に比べての評価

現在の勤務先の給与の評価について、実際にしている仕事の内容に比べて、「高いと思う」17.3%（「高いと思う」2.7%+「やや高いと思う」14.6%）、「安いと思う」82.7%（「やや安いと思う」44.4%+「安いと思う」38.3%）であり、「安いと思う」が「高いと思う」を大幅に上回っている（図表 40 を参照）。

こうした実際にしている仕事の内容に比べての評価について、第 1 に、従事している仕事別にみると、従事しているすべての仕事で、同じ程度の能力をもつ正社員と比較して、「安いと思う」者が多くなっており、とくに、保安の仕事に従事している者、運搬・清掃・包装の仕事に従事している者及びその他の仕事に従事している者で顕著に見られる。

第 2 に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、第 3 に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみても、週の労働時間の長さに関わらず、第 4 に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係に関わらず、実際にしている仕事の内容に比べての評価は変わらない。

図表 40 現在の勤務先での給与の評価—実際にしている仕事の内容に比べて

(左段：件数、右段：行%)

	調査数	高いと思う	やや高いと思う			安いと思う		安くないと思う
			高いと思う	やや高いと思う	やや安いと思う	安いと思う		
全体	4113	17.3	2.7	14.6	44.4	38.3	82.7	
従事している仕事	管理的な仕事	42	23.8	4.8	19.0	31.0	45.2	76.2
	専門的・技術的な仕事	254	24.4	5.5	18.9	40.2	35.4	75.6
	事務的な仕事	1101	19.5	3.1	16.4	43.0	37.5	80.5
	販売の仕事	815	15.7	2.0	13.7	46.3	38.0	84.3
	サービスの仕事	613	18.6	3.1	15.5	46.3	35.1	81.4
	保安の仕事	57	14.0	3.5	10.5	47.4	38.6	86.0
	生産工程の仕事	476	14.7	2.1	12.6	42.2	43.1	85.3
	輸送・機械運転の仕事	79	15.2	5.1	10.1	43.0	41.8	84.8
	建設・採掘の仕事	20	35.0	5.0	30.0	30.0	35.0	65.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	12.4	1.1	11.3	46.7	40.9	87.6
その他の仕事	382	13.6	1.3	12.3	47.6	38.7	86.3	
現在の勤務先での勤務年数	5年以上 10年未満	1890	16.4	2.2	14.2	45.5	38.1	83.6
	10年以上	2223	18.1	3.1	15.0	43.5	38.4	81.9
平均的な週の労働時間	20時間以上 40時間未満	2325	18.3	2.3	16.0	47.0	34.8	81.7
	40時間以上	1788	16.1	3.1	12.9	41.1	42.8	83.9
現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係	正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいる	1142	16.6	3.6	13.0	35.6	47.7	83.4
	正社員でも、ほぼ同じ内容の仕事をしている人がいる	1762	17.6	2.7	14.9	48.2	34.2	82.4
	正社員には、同じ内容の仕事をしている人はいない	1209	17.5	1.8	15.7	47.1	35.3	82.5

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

15. 諸手当の対象の有無

(1) 扶養手当(家族手当・子女教育手当)の対象の有無

扶養手当(家族手当・子女教育手当)の「対象になっている」が14.7%、「対象となっていないが、正社員には仕組みがある」が60.4%、「対象となっていないし、正社員にも仕組みがない」が24.8%である(図表41を参照)。

こうした扶養手当(家族手当・子女教育手当)の適用の有無について、第1に、従事している仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者で、扶養手当(家族手当・子女教育手当)の「対象になっている」、事務的な仕事に従事している者及び販売の仕事に従事している者で「対象となっていないが、正社員には仕組みがある」、保安の仕事に従事している者で「対象となっていないし、正社員にも仕組みがない」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、扶養手当(家族手当・子女教育手当)の適用の有無はほぼ変わらない。これに対して、第3に、平均的な週の労働時間(残業時間含む)別にみると、平均的な週の労働時間の長い者ほど、「対象になっている」を指摘する者が多くなっている。

第4に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、概ね、扶養手当(家族手当・子女教育手当)の「対象になっている」を指摘する者が多くなっている。

図表 41 「扶養手当（家族手当・子女教育手当）」・「住宅手当」・
「リーダー手当等の役職位に基づく手当」の対象の有無

(左段：件数、右段：行%)

	調査数	扶養手当 (家族手当・子女教育手当)			住宅手当			リーダー手当等の役職位に 基づく手当			
		対象 になっている	対象 となっていないが、 正社員には 仕組みがある	対象 となっていないし、 正社員にも 仕組みがない	対象 になっている	対象 となっていないが、 正社員には 仕組みがある	対象 となっていないし、 正社員にも 仕組みがない	対象 になっている	対象 となっていないが、 正社員には 仕組みがある	対象 となっていないし、 正社員にも 仕組みがない	
全体	4113	14.7	60.4	24.8	4.3	61.1	34.6	12.4	62.9	24.8	
従事している仕事	管理的な仕事	42	26.2	52.4	21.4	7.1	64.3	28.6	52.4	38.1	9.5
	専門的・技術的な仕事	254	19.7	55.5	24.8	5.5	58.7	35.8	13.4	62.2	24.4
	事務的な仕事	1101	14.1	62.5	23.4	4.8	60.9	34.2	10.1	66.9	23.0
	販売の仕事	815	15.3	64.9	19.8	3.6	67.9	28.6	13.3	66.5	20.2
	サービスの仕事	613	14.2	59.1	26.8	3.9	58.4	37.7	17.5	56.4	26.1
	保安の仕事	57	19.3	42.1	38.6	1.8	45.6	52.6	35.1	40.4	24.6
	生産工程の仕事	476	14.9	58.0	27.1	4.0	58.2	37.8	7.6	65.8	26.7
	輸送・機械運転の仕事	79	17.7	55.7	26.6	1.3	57.0	41.8	6.3	64.6	29.1
	建設・採掘の仕事	20	10.0	40.0	50.0	10.0	50.0	40.0	15.0	35.0	50.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	11.7	59.1	29.2	3.3	61.3	35.4	7.3	61.7	31.0
その他の仕事	382	12.6	59.9	27.5	5.2	60.5	34.3	11.0	58.9	30.1	
現在の勤務先での 勤務年数	5年以上 10年未満	1890	14.0	58.9	27.0	3.8	58.5	37.7	11.1	61.6	27.2
	10年以上	2223	15.3	61.7	23.0	4.6	63.4	32.0	13.4	64.0	22.6
平均的な週の労働 時間	20時間以上 40時間未満	2325	11.3	62.9	25.8	2.7	60.9	36.4	9.8	63.6	26.6
	40時間以上	1788	19.2	57.2	23.5	6.3	61.4	32.3	15.7	62.0	22.4
会社にとって、非 正社員は戦力であ るという方針を 持っている	当てはまる	866	16.4	64.7	18.9	4.2	66.2	29.7	17.6	65.4	17.1
	やや当てはまる	1595	16.6	64.9	18.5	5.1	65.6	29.3	13.9	67.7	18.4
	あまり当てはまらない	882	14.4	59.6	26.0	4.0	61.1	34.9	9.2	63.6	27.2
	当てはまらない	770	9.4	47.3	43.4	2.9	46.4	50.8	6.9	49.4	43.8

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

(2) 住宅手当の対象の有無

住宅手当の「対象になっている」が4.3%、「対象となっていないが、正社員には仕組みがある」が61.1%、「対象となっていないし、正社員にも仕組みがない」が34.6%である（前掲図表41を参照）。

こうした住宅手当の適用の有無について、第1に、従事している仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者で、住宅手当の「対象になっている」、販売の仕事に従事している者で「対象となっていないが、正社員には仕組みがある」、保安の仕事に従事している者で「対象となっていないし、正社員にも仕組みがない」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、住宅手当の適用の有無はほぼ変わらない。第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間に関わらず、住宅手当の適用の有無は変わらない。

第4に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていないと考えている者ほど、概ね、住宅手当の「対象となっていないし、正社員にも仕組みがない」を指摘する者が多くなっている。

(3) リーダー手当等の役職位に基づく手当（役職手当）の対象の有無

リーダー手当等の役職位に基づく手当（役職手当）の「対象になっている」が12.4%、「対象となっていないが、正社員には仕組みがある」が62.9%、「対象となっていないし、正社員にも仕組みがない」が24.8%である（前掲図表41を参照）。

こうしたリーダー手当等の役職位に基づく手当の有無について、第1に、従事している仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者で、リーダー手当等の役職位に基づく手当（役職手当）の「対象になっている」、事務的な仕事に従事している者、販売の仕事に従事している者及び生産工程の仕事に従事している者で「対象となっていないが、正社員には仕組みがある」、運搬・清掃・包装等の仕事に従事している者及びその他の仕事に従事している者で「対象となっていないし、正社員にも仕組みがない」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、リーダー手当等の役職位に基づく手当の適用の有無はほぼ変わらない。これに対して、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間の長い者ほど、「対象になっている」を指摘する者が多くなっている。

第4に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、リーダー手当等の役職位に基づく手当（役職手当）の「対象になっている」を指摘する者が多くなっている。

(4) 精皆勤手当等の職務に基づく手当の対象の有無

精皆勤手当等の職務に基づく手当の「対象になっている」が8.4%、「対象となっていないが、正社員には仕組みがある」が43.1%、「対象となっていないし、正社員にも仕組みがない」が48.5%である（図表42を参照）。

こうした精皆勤手当等の職務に基づく手当の有無について、第1に、従事している仕事別にみると、生産工程の仕事に従事している者で、精皆勤手当等の職務に基づく手当の「対象になっている」、販売の仕事に従事している者で「対象となっていないが、正社員には仕組みがある」、管理的な仕事に従事している者及びサービスの仕事に従事している者で「対象となっていないし、正社員にも仕組みがない」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、第3に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係に関わらず、精皆勤手当等の職務に基づく手当の対象の有無はほぼ変わらない。これに対して、第4に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間の長い者ほど、精皆勤手当等の職務に基づく手当の「対象になっている」を指摘する者が多くなっている。

図表 42 「精皆勤手当等の職務に基づく手当」の対象の有無・
勤務先までの交通費（通勤手当）の支給状況

(左段：件数、右段：行%)

	調査数	精皆勤手当等の職務に基づく手当			勤務先までの交通費の支給			
		対象になっている	正社員には仕組みがあるが、対象となっていないが、正社員にも仕組みがない	対象となっていないし、正社員にも仕組みがない	全額支給されている	一部支給されている	支給されていない	
全体	4113	8.4	43.1	48.5	49.0	26.3	24.7	
従事している仕事	管理的な仕事	42	11.9	35.7	52.4	50.0	23.8	26.2
	専門的・技術的な仕事	254	11.4	40.2	48.4	57.9	17.7	24.4
	事務的な仕事	1101	6.1	44.9	49.0	59.4	23.6	17.0
	販売の仕事	815	5.3	46.6	48.1	47.2	23.9	28.8
	サービスの仕事	613	7.8	40.9	51.2	40.9	26.4	32.6
	保安の仕事	57	15.8	36.8	47.4	59.6	31.6	8.8
	生産工程の仕事	476	17.9	35.3	46.8	38.7	38.4	22.9
	輸送・機械運転の仕事	79	8.9	45.6	45.6	44.3	39.2	16.5
	建設・採掘の仕事	20	10.0	30.0	60.0	40.0	15.0	45.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	8.8	45.3	46.0	45.6	28.1	26.3
その他の仕事	382	6.8	45.8	47.4	45.0	25.1	29.8	
現在の勤務先での勤務年数	5年以上 10年未満	1890	8.9	42.7	48.4	48.6	25.4	26.0
	10年以上	2223	7.9	43.4	48.7	49.4	27.0	23.6
平均的な週の労働時間	20時間以上 40時間未満	2325	5.5	45.0	49.4	45.8	25.2	28.9
	40時間以上	1788	12.1	40.5	47.4	53.1	27.6	19.2
現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係	正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいる	1142	9.8	39.2	51.0	50.7	28.5	20.8
	正社員でも、ほぼ同じ内容の仕事をしている人がいる	1762	8.0	46.5	45.5	48.6	25.6	25.8
	正社員には、同じ内容の仕事をしている人はいない	1209	7.6	41.8	50.6	48.0	25.1	27.0

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

(5) 勤務先までの交通費の支給（通勤手当）の支給状況

勤務先までの交通費（通勤手当）が「全額支給されている」が49.0%、「一部支給されている」が26.3%、「支給されていない」が24.7%である（前掲図表42を参照）。

こうした勤務先までの交通費の支給（通勤手当）の支給状況について、第1に、従事している仕事別にみると、事務的な仕事に従事している者及び保安の仕事に従事している者で勤務先までの交通費（通勤手当）が「全額支給されている」、生産工程の仕事に従事している者及び輸送・機械運転の仕事に従事している者で「一部支給されている」、サービスの仕事に従事している者で「支給されていない」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、第3に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係に関わらず、勤務先までの交通費の支給状況はほぼ同じである。他方、第4に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間の長い者ほど「全額支給されている」、これに対して、短い者ほど「支給されていない」、を指摘する者が多くなっている。

16. 賞与・一時金の支給状況と支給基準

(1) 賞与・一時金の支給状況

賞与・一時金が「支給されている」が46.5%、「支給されていない」が53.5%である（図表43を参照）。

こうした賞与・一時金の支給の有無について、第1に、従事している仕事別にみると、輸送・機械運転の仕事に従事している者で賞与・一時金が「支給されている」、これに対して、サービスの仕事に従事している者で「支給されていない」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数が高い者ほど、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間の長い者ほど、第4に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいると考えている者ほど、賞与・一時金が「支給されている」を指摘する者が多くなっている。

図表43 賞与・一時金の支給の有無と支給基準

（左段：件数、右段：行%）

	賞与・一時金の支給状況			賞与・一時金の支給基準						
	調査数	支給されている	支給されていない	調査数	支給金額は固定されており金額は変わらない	支給金額は変わる	人事評価の結果のみで変わる	会社業績のみで変わる	業績の両方で変わる	人事評価の結果と会社業績の両方で変わる
全体	4113	46.5	53.5	1914	35.6	64.4	14.5	19.2	30.7	
従事している仕事	管理的な仕事	42	52.4	47.6	22	13.6	86.4	27.3	18.2	40.9
	専門的・技術的な仕事	254	42.9	57.1	109	28.4	71.6	16.5	25.7	29.4
	事務的な仕事	1101	52.7	47.3	580	38.6	61.4	13.8	19.5	28.1
	販売の仕事	815	45.4	54.6	370	26.8	73.2	16.8	17.8	38.6
	サービスの仕事	613	35.1	64.9	215	40.9	59.1	13.0	20.9	25.1
	保安の仕事	57	40.4	59.6	23	47.8	52.2	4.3	26.1	21.7
	生産工程の仕事	476	55.3	44.7	263	35.0	65.0	12.2	22.1	30.8
	輸送・機械運転の仕事	79	59.5	40.5	47	36.2	63.8	12.8	12.8	38.3
	建設・採掘の仕事	20	35.0	65.0	7	57.1	42.9	14.3	28.6	0.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	47.1	52.9	129	47.3	52.7	8.5	14.7	29.5
その他の仕事	382	39.0	61.0	149	34.9	65.1	22.1	13.4	29.5	
現在の勤務先での勤務年数	5年以上 10年未満	1890	40.5	59.5	820	37.1	62.9	12.3	19.4	31.2
	10年以上	2223	54.4	45.6	1094	34.6	65.4	16.2	19.0	30.3
平均的な週の労働時間	20時間以上 40時間未満	2325	40.5	59.5	942	36.0	64.0	14.1	20.4	29.5
	40時間以上	1788	54.4	45.6	972	35.3	64.7	14.9	18.0	31.8
現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係	正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいる	1142	52.2	47.8	592	35.9	64.1	14.8	20.0	29.4
	正社員でも、ほぼ同じ内容の仕事をしている人がいる	1762	45.9	54.1	808	34.9	65.1	14.7	18.6	31.8
	正社員には、同じ内容の仕事をしている人はいない	1209	42.2	57.8	510	36.5	63.5	13.9	19.2	30.4
会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている	当てはまる	866	48.8	51.2	423	32.2	67.8	15.8	15.8	36.2
	やや当てはまる	1595	49.5	50.5	489	34.6	65.4	14.4	19.3	31.7
	あまり当てはまらない	882	43.0	57.0	379	37.5	62.5	14.5	21.4	26.6
	当てはまらない	770	41.9	58.1	232	40.6	59.4	13.0	20.7	25.7

(注1) 賞与・一時金の支給基準は賞与・一時金が支給されている者の回答。
 (注2) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

(2) 賞与・一時金の支給基準

賞与・一時金の支給基準は、「支給金額は固定されており金額は変わらない」は35.6%、「支給金額は変わる」は64.4%である。金額が変わる基準は、「人事評価の結果のみで変わる」が14.5%、「会社業績のみで変わる」が19.2%、「人事評価の結果と会社業績の両方で変わる」が30.7%である（前掲図表43を参照）。

こうした賞与・一時金の支給基準について、第1に、従事している仕事別にみると、保安の仕事に従事する者及び運搬・清掃・包装等の仕事に従事している者で賞与・一時金の「支給金額は固定されており金額は変わらない」、これに対して、管理的な仕事に従事する者及び販売の仕事に従事している者で賞与・一時金の「支給金額は変わる」、を指摘する者が多くなっている。また、支給金額が変わる基準は、その他の仕事に従事する者で「人事評価の結果のみで変わる」、専門的・技術的な仕事に従事する者及び保安の仕事に従事する者で「会社業績のみで変わる」、管理的な仕事に従事する者、販売の仕事に従事する者及び輸送・機械運転の仕事に従事する者で「人事評価の結果と会社業績の両方で変わる」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間に関わらず、第4に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係に関わらず、賞与・一時金の支給基準はほぼ同じである。

これに対して、第5に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、賞与・一時金の「支給金額は変わる」及び「人事評価の結果と会社業績の両方で変わる」を指摘する者が多くなっている。

17. 非正社員を対象とした退職金や慰労金の支給状況

非正社員を対象とした退職金や慰労金の支給は「あり、勤続年数により支給額が変わる」が11.0%、「あるが、勤続年数に関わらず支給額は変わらない」が2.9%、「退職金・慰労金はない（正社員にはある）」が69.9%、「退職金・慰労金はない（正社員にもない）」が16.3%である（図表44を参照）。

こうした非正社員を対象とした退職金や慰労金の支給状況について、第1に、従事している仕事別にみると、生産工程の仕事に従事している者で、退職金や慰労金の支給は「あり、勤続年数による支給額が変わる」、管理的な仕事に従事する者で「あるが、勤続年数に関わらず、支給額は変わらない」、輸送・機械運転の仕事に従事する者で「退職金・慰労金はない（正社員にはある）」、専門的・技術的な仕事に従事する者、サービスの仕事に従事する者及びその他の仕事に従事する者で「退職金・慰労金はない（正社員にもない）」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみても、平均的な週の労働時間の長さに関わらず、第4に、勤務先における非正社員の活用方針別にみても、活用方針に関わらず、退職金や慰労金の支給状況はほぼ同じである。

図表 44 非正社員を対象とした退職金や慰労金の支給状況・勤務先の保養所やレクリエーション施設等の利用状況

(左段：件数、右段：行%)

	調査数	非正社員を対象とした退職金・慰労金の支給状況				会社の保養所やレクリエーション施設等の利用状況				
		あり、勤続年数による支給額が変わる	あるが、勤続年数に関わらず、支給額は変わらない	退職金・慰労金はない(正社員にはある)	退職金・慰労金はない(正社員にもない)	全部利用できる	一部利用できる	全く利用できない	保養所・レクリエーション施設等はない	
全体	4113	11.0	2.9	69.9	16.3	15.1	21.7	16.6	46.5	
従事している仕事	管理的な仕事	42	11.9	7.1	69.0	11.9	16.7	31.0	16.7	35.7
	専門的・技術的な仕事	254	11.4	2.0	65.7	20.9	17.7	23.6	16.1	42.5
	事務的な仕事	1101	12.0	3.0	70.1	14.9	19.9	24.9	14.7	40.5
	販売の仕事	815	9.6	2.3	74.5	13.6	17.1	23.7	16.4	42.8
	サービスの仕事	613	11.1	2.3	65.3	21.4	11.1	20.4	20.4	48.1
	保安の仕事	57	5.3	1.8	75.4	17.5	10.5	7.0	10.5	71.9
	生産工程の仕事	476	14.3	3.6	67.9	14.3	9.5	17.2	14.3	59.0
	輸送・機械運転の仕事	79	6.3	1.3	83.5	8.9	19.0	16.5	15.2	49.4
	建設・探掘の仕事	20	20.0	-	50.0	30.0	5.0	15.0	15.0	65.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	8.8	4.0	75.2	12.0	9.9	21.2	22.6	46.4
その他の仕事	382	9.2	4.2	65.4	21.2	12.8	18.1	16.8	52.4	
現在の勤務先での勤続年数	5年以上 10年未満	1890	9.5	2.1	69.8	18.6	13.7	19.8	17.8	48.6
	10年以上	2223	12.2	3.6	69.9	14.3	16.3	23.3	15.6	44.8
平均的な週の労働時間	20時間以上 40時間未満	2325	10.6	3.1	68.4	17.9	12.4	20.0	18.0	49.6
	40時間以上	1788	11.5	2.7	71.7	14.1	18.6	24.0	14.8	42.6
会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている	当てはまる	866	11.8	2.4	73.1	12.7	19.6	20.4	15.8	44.1
	やや当てはまる	1595	11.5	2.7	72.2	13.6	17.1	24.6	14.7	43.6
	あまり当てはまらない	882	10.4	3.9	69.0	16.7	13.3	20.9	19.6	46.3
	当てはまらない	770	9.6	2.9	62.2	25.3	8.1	18.2	18.1	55.7

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

18. 勤務先の保養所やレクリエーション施設等の利用状況

勤務先の保養所やレクリエーション施設等の利用は「全部利用できる」が15.1%、「一部利用できる」が21.7%、「全く利用できない」が16.6%、「保養所・レクリエーション施設等はない」が46.5%である（前掲図表44を参照）。

こうした会社の保養所やレクリエーション施設等の利用について、第1に、従事している仕事別にみると、事務的な仕事に従事している者及び輸送・機械運転の仕事に従事している者で、勤務先の保養所やレクリエーション施設等は「全部利用できる」、管理的な仕事に従事している者で「一部利用できる」、運搬・清掃・包装等の仕事に従事する者で「全く利用できない」、保安の仕事に従事する者及び生産工程の仕事に従事する者で「保養所・レクリエーション施設等はない」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、勤務先の勤続年数別にみると、勤続年数に関わらず、勤務先の保養所やレクリエーション施設等の利用状況は変わらない。これに対して、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間の長い者ほど「全部利用できる」、短い者ほど「保養所・レクリエーション施設等はない」、を指摘する者が多くなっている。

第4に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど「全部利用できる」、考えていない者ほど「保養所・レクリエーション施設等はない」、を指摘する者が多くなっている。

19. 職場の会議やミーティングへの参加

職場の会議やミーティングへの参加は「参加できる」41.4%（「すべて参加できる」7.5%+「ほとんど参加できる」14.2%+「半分程度参加できる」8.6%+「2割程度参加できる」11.1%）、「ほとんど参加できない」が58.4%であり、「参加できない」が「参加できる」を上回っている（図表45を参照）。

こうした職場の会議やミーティングへの参加について、第1に、従事している仕事別にみると、管理的な仕事に従事している者で、職場の会議やミーティングに「参加できる」、これに対して、保安の仕事に従事している者で「ほとんど参加できない」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数が長い者ほど、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間の長い者ほど、職場の会議やミーティングに「参加できる」を指摘する者が多くなっている。

第4に、現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係別にみると、正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいると考えている者ほど、第5に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、職場の会議やミーティングに「参加できる」を指摘する者が多くなっている。

図表45 職場の会議やミーティングへの参加

(左段：件数、右段：行%)

	調査数	参加できる	参加できない				ほとんど参加できない	
			すべて参加できる	ほとんど参加できる	半分程度参加できる	2割程度参加できる		
全体	4113	41.4	7.5	14.2	8.6	11.1	58.4	
従事している仕事	管理的な仕事	42	76.1	21.4	35.7	9.5	9.5	23.8
	専門的・技術的な仕事	254	62.2	15.7	21.3	13.8	11.4	37.8
	事務的な仕事	1101	45.0	7.3	13.6	9.9	14.2	55.0
	販売の仕事	815	40.9	5.6	15.1	8.7	11.5	59.0
	サービスの仕事	613	41.7	9.0	15.8	9.1	7.8	58.2
	保安の仕事	57	29.8	14.0	8.8	7.0	0.0	70.2
	生産工程の仕事	476	31.1	4.2	9.0	6.3	11.6	68.9
	輸送・機械運転の仕事	79	41.7	10.1	15.2	2.5	13.9	58.2
	建設・採掘の仕事	20	40.0	5.0	15.0	5.0	15.0	60.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	31.8	4.4	12.4	6.2	8.8	68.2
その他の仕事	382	36.9	8.1	13.1	6.8	8.9	63.1	
現在の勤務先での勤務年数	5年以上 10年未満	1890	38.4	6.5	14.3	7.4	10.2	61.6
	10年以上	2223	44.3	8.4	14.2	9.7	11.9	55.7
平均的な週の労働時間	20時間以上 40時間未満	2325	37.8	6.2	13.7	7.3	10.6	62.2
	40時間以上	1788	46.4	9.2	14.9	10.4	11.9	53.6
現在している仕事内容と正社員の仕事内容との関係	正社員でもまったく同じ内容の仕事をしている人がいる	1142	48.3	12.6	16.5	9.2	10.1	51.7
	正社員でも、ほぼ同じ内容の仕事をしている人がいる	1762	43.5	5.3	15.6	10.0	12.6	56.5
	正社員には、同じ内容の仕事をしている人はいない	1209	32.3	6.0	10.3	6.0	10.0	67.7
会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っている	当てはまる	866	49.3	11.1	15.8	11.0	11.4	50.7
	やや当てはまる	1595	45.6	7.7	16.4	8.8	12.7	54.4
	あまり当てはまらない	882	36.2	4.9	12.1	8.4	10.8	63.8
当てはまらない	770	30.5	6.2	10.4	5.8	8.1	69.5	

(注) 従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。

20. 勤務先に仕事内容等に関する意見や要望を伝える場

仕事内容等に関する意見や要望を伝える場は、「社内の相談窓口（電子メールでの相談を含む）」が25.8%で最も多く、次いで、「職場懇談会」（13.2%）、「投書箱・目安箱」（10.6%）、「人事担当者による巡回面談」（9.7%）、「非正社員を対象にした意識調査」（9.5%）がこれに続いている。他方、「特になし」は半数以上の52.7%を占めている（図表46を参照）。

こうした勤務先に仕事内容等に関する意見や要望を伝える場について、第1に、従事している仕事別にみると、すべての仕事に従事している者で、仕事内容等に関する意見や要望を伝える場が「特になし」が多くなっているが、とくに、その傾向は、輸送・機械運転の仕事に従事している者で顕著に見られる。また、管理的な仕事に従事している者で、「社内の相談窓口（電子メールでの相談を含む）」及び「非正社員を対象にした意識調査」、専門的・技術的な仕事に従事している者で「職場懇談会」及び「人事担当者による巡回面談」、販売の仕事に従事している者で「社内の相談窓口（電子メールでの相談を含む）」、運搬・清掃・包装等の仕事に従事している者で、「投書箱・目安箱」、を指摘する者が多くなっている。

第2に、勤務先の勤務年数別にみると、勤務年数に関わらず、第3に、平均的な週の労働時間（残業時間含む）別にみると、平均的な週の労働時間に関わらず、仕事内容等に関する意見や要望を伝える場の存在はほぼ同じである。

これに対して、第4に、勤務先における非正社員の活用方針別にみると、会社にとって、非正社員は戦力であるという方針を持っていると考えている者ほど、「勤務先に仕事内容等に関する意見や要望を伝える場」が広範囲に広がっている。

図表46 仕事内容等に関する意見や要望を伝える場（複数回答）

		（左段：件数、右段：行%）							
		調査数	職場懇談会	社内の相談窓口 （電子メールでの 相談を含む）	投書箱・目安箱	非正社員を対象 にした意識調査	人事担当者によ る巡回面談	その他	特になし
全体		4113	13.2	25.8	10.6	9.5	9.7	2.8	52.7
従事している仕事	管理的な仕事	42	9.5	33.3	7.1	14.3	9.5	-	47.6
	専門的・技術的な仕事	254	19.3	27.6	9.1	11.8	17.3	1.6	45.3
	事務的な仕事	1101	16.4	27.8	10.6	8.2	12.3	2.8	50.5
	販売の仕事	815	13.4	33.9	7.7	10.2	9.3	3.3	47.7
	サービスの仕事	613	11.6	24.0	7.7	11.1	8.6	2.9	54.5
	保安の仕事	57	8.8	15.8	8.8	5.3	15.8	8.8	57.9
	生産工程の仕事	476	10.5	16.2	17.0	7.6	5.5	2.7	59.2
	輸送・機械運転の仕事	79	8.9	22.8	10.1	12.7	5.1	-	63.3
	建設・採掘の仕事	20	10.0	15.0	10.0	15.0	10.0	-	65.0
	運搬・清掃・包装等の仕事	274	8.4	23.7	19.7	9.1	6.2	3.3	51.5
その他の仕事	382	10.5	19.9	8.6	9.7	7.6	2.1	61.3	
現在の勤務先での 勤務年数	5年以上 10年未満	1890	11.1	24.0	9.9	9.0	9.3	2.8	54.5
	10年以上	2223	14.9	27.3	11.2	9.9	10.1	2.8	51.1
平均的な週の労働 時間	20時間以上 40時間未満	2325	13.9	24.9	9.1	9.2	10.7	3.2	52.7
	40時間以上	1788	12.2	27.0	12.6	9.8	8.4	2.3	52.6
会社にとって、非 正社員は戦力であ るという方針を 持っている	当てはまる	866	17.9	35.9	15.7	15.7	13.4	5.0	38.8
	やや当てはまる	1595	14.8	28.9	11.5	10.8	11.2	3.0	46.0
	あまり当てはまらない	882	10.4	21.0	8.5	6.6	8.6	1.8	58.6
	当てはまらない	770	7.5	13.5	5.3	3.2	3.6	1.0	75.5

（注）従事している仕事の中で、30件未満の仕事は分析から除外してある。